

■平成27年度執行目標（達成状況） 教育部

部局	課・室	番号	執行目標項目	執行目標の内容	達成状況	主な成果・課題・今後の方向性等	項目 (単位)	根拠計画 等	H27 実績値	H27 目標値
教育部	学校教育課	1	ICT機器を活用した情報教育の充実	平成26年度から整備中のICT機器を活用した、わかりやすい授業の実現を目指し、デジタル教科書をはじめとしたデジタル教材の配信や、ICT支援員を活用した授業を進める。さらに、校内研修や情報教育研究会での研修を進め、教員相互の情報交換により授業の充実を図り、子どもたちの学力向上を目指す。	概ね達成	ICT機器・デジタル教材等導入事業計画の二年目として、中学校2年生、小学校3・4年生に56台を導入した。入札事務の執行を前年度より早め、夏期休業期間の初期に設置を完了し、校内研修の期間を確保できた。情報研究会での研修では習熟度に応じた内容で実施し、授業での十分な活用につなげることができた。				
教育部	学校教育課	2	学校における読書活動の推進	平成22年3月に策定した「木津川市子どもの読書活動推進計画」を現在の情勢にあわせ、改訂する。あわせて読書活動を推進するため現在未整備となっている加茂・山城地域の小中学校の図書館図書データをデータ化し、図書管理システムを導入する。	一部未達成・成果小	学校図書管理システムが未導入であった加茂・山城地域の小中学校に、導入を行った。これにより、貸出業務の効率化が図れたとともに、貸出図書のデータから次年度以降の購入図書の選定に活かすことができる。「木津川市子どもの読書活動推進計画」策定については、策定委員会・作業部会を開催し作業を進めたが、読書活動に関する市の現状やニーズの把握、推進するための効果的な取り組みを進めるため、次年度に作業継続することとした。				
教育部	学校教育課	3	学校給食センターのあり方の検討	学校給食センター施設のあり方について検討を進めるとともに、平成28年度増加食数への備品等の整備を図る。	概ね達成	引き続き関係各課と庁内連絡会議を開催し、学校給食センター施設あり方の方向性を検討した。食数の動向、既存3センターの施設・設備、厨房機器の状況、また運営体制等の把握に努め、今後の市全体の学校給食センターあり方の検討を進めた。新センターについては、多額の経費がかかるため、次年度以降も慎重に検討を継続する。				
教育部	教育施設整備室	1	森仁小学校耐震補強改修工事の実施（1・2工区）	森仁小学校耐震補強改修工事を実施した。 ・1・2工区の年度内完了 ・3工区の発注準備（再積算）	優秀に達成（困難事項・成果大等）	1工区：平成27年12月22日 完了検査済 2工区：平成28年3月25日 完了検査済 3工区：平成28年5月発注・平成28年6月議会議決・平成29年3月末完了予定	年度内工事出来高率（%）	木津川市立小中学校耐震化改修計画	100	100
教育部	教育施設整備室	2	棚倉小学校改築工事の実施	棚倉小学校改築工事を実施した。 ・改築工事の年度内完了 ・解体・整備工事の発注準備（再積算）	優秀に達成（困難事項・成果大等）	改築工事：平成28年3月22日 完了検査済 備品納入：平成28年3月31日 完了済 解体工事：平成28年5月発注・10月末完了予定 整備工事：平成28年9月発注・平成29年3月末完了予定	年度内工事出来高率（%）	木津川市立小中学校耐震化改修計画	100	70
教育部	教育施設整備室	3	幼稚園・小中学校非構造部材耐震化事業	幼稚園・小中学校非構造部材調査実施設計業務の遂行	優秀に達成（困難事項・成果大等）	調査業務：平成27年10月31日 完了 実施設計：平成28年2月29日 完了 工事発注：平成28年6月発注・10月末完了予定	年度内設計業務の出来高		100	100
教育部	社会教育課	1	地域で支える学校教育推進事業	次の取組により、地域ぐるみで子どもを育てる体制基盤を確立し、学校の教育活動を支援する。市内全小中学校における、学校からの要請に基づいた支援を実施する。	概ね達成	市内5中学校区で学校からの要請に基づく支援を概ね達成できた。学校からの支援要望があっても、ボランティアの確保が出来ず、事業が実施できないことがあった。今後、ボランティアの確保が必要である。				
教育部	社会教育課	2	当尾の郷会館整備事業	当尾の郷会館（社会体育・避難ゾーン、生涯学習ゾーン）と地域活動促進スペース（当尾地域在住の市民）の整備を行う。	優秀に達成（困難事項・成果大等）	都市計画法の開発許可、建築確認申請、京都府福祉のまちづくり条例の手続きを経て、平成28年2月に整備が完了した。				
教育部	文化財保護室	1	文化財保存活用基本計画の策定と進行	本市には、豊富な文化財が遺存し、文化財に軸足を置いたまちづくりも展開している。文化財の保存・活用は、市内外の方々が文化と歴史に関し理解を深め、魅力を知っていただくことに大きな役割を果たすと期待される。文化財業務は持続的な取組みであり、教育・観光を含む内容を有し、周辺環境も含めて総合的に捉える必要から、基本計画を策定する。また、文化財の保護・整備・調査などを進める。	優秀に達成（困難事項・成果大等）	文化財保護審議会の答申を得て、木津川市文化財保存活用基本計画を策定した。今後、当計画に基づき、文化財の調査・保護・整備・活用などを進めていく。史跡高麗寺跡造成等工事が終了し、次年度から史跡整備工事に着手予定である。鹿背山城跡は、次年度以降、用地測量、総合報告書の刊行を行い、史跡指定を目指す。椿井大塚山古墳は石垣のゆるみ対策として、実施設計を基に平成28年度に災害対策工事を実施する。				
教育部	文化財保護室	2	文化財保護啓発事業の推進	各種団体、小中学校などとの連携による、文化財の啓発・学習事業を推進する。市役所1階住民活動スペースを活用した展示（11月実施）を行う。	優秀に達成（困難事項・成果大等）	11月20日～12月18日の間、文化財啓発事業として、かつて加茂町井平尾において活動していた人形浄瑠璃「泉川座」の人形や資料等の展示を住民活動スペースにて実施した。国立文楽劇場の協力も得て実施したもので、市内でもこのような活動が行われていたことをPRでき、また、文楽についての周知も行うことができ、好評であった。また、平成28年1月には地元の泉川中学において1週間展示を行うとともに、全学年・全学級に対して出前授業を実施した。				

■平成27年度執行目標（達成状況） 教育部

部局	課・室	番号	執行目標項目	執行目標の内容	達成状況	主な成果・課題・今後の方向性等	項目 (単位)	根拠計画 等	H27 実績値	H27 目標値
教育部	文化財保護室	3	市内文化財の保全・修理事業の推進	相楽神社：本殿環境整備事業（危険木の剪定・伐採）を行う。 現光寺：木造十一面観音坐像修理、収蔵庫改修事業を行う。	概ね達成	相楽神社においては、末社若宮神社の保存修理が行われた。また、本殿環境整備事業として危険木の伐採、剪定により環境整備と災害予防対策が図られた。 現光寺では、木造十一面観音座像の修理とこれを保管する収蔵庫の改修が完了した。 市内には守り伝えていくべき文化遺産が数多くあるため、一定の事業費の枠の中で、文化財個々の状況や緊急性等も加味しながら文化庁の指導も仰いで保存修理事業に継続して取り組んでいく。				